

当所は子ども達が思いきって身体活動ができるよう、安全な環境を整えて行き健全な運営に努めていく。厚生労働省からの「換気が悪い密閉空間」「人が密に集まる空間」「多数の人が間近で会話する密接な環境」の三密を考慮し、各会場の特性に則した、健康被害や拡散防止の基本方針を定め、以下のガイドラインに沿った活動をしていく。

※全国の会員様へ一斉通知文故、会場によっては当てはまらない内容も含まれる場合がある。

1. 活動感染防止について

【担当講師】

① 環境設定

- ・三密を避けた環境設定を整える。

② 指導者

- ・マスクは原則着用する。

※夏期期間のマスク着用指導は熱中症の危険性をともなう。したがって、十分な距離をとってマスクを外すことや、こまめな水分補給を行い予防していく意識をもつ。また、マウスシールド（飛沫防止マスク）等も利用する。

③ 指導留意

- ・体育器具は使用前後に除菌を行う。

※不特定多数が触れる物は適度に除菌する。なお、除菌については塩素系及びアルコール系を使用する。

- ・床に等間隔にマーキングをつけ、密接した環境を避ける。

- ・指導者は子ども達と必要以上の接触を避ける。

- ・指導後は手洗い（消毒液による除菌等）・うがいを徹底する。

【会員並び保護者】

①会員及び保護者は朝必ず検温を行う。

②活動終了後はすみやかに帰宅する。

●保護者対象

①送迎について

- 1) 指定された場所で待機する場合は密集しないよう十分注意する。

- 2) 特に指定された待機場所がない会場では、ホール内に入らず、外環境にて待機する。その際マスクを着用する。

●会員対象

①会員は原則をマスク着用するが**園の方針に準ずる**。

※指導中の着用において、以下の状況が確認される場合はマスクを外し、十分な距離をとって安静させる。

- 1) 熱中症の初期症状。
- 2) 表情から見られる健康状態。

②小学生クラスの児童は、除菌シートを各自で準備し、指導前後は必ず除菌する。

※除菌する項目は以下の通りである。

- ・手～手首・運動シューズ（上靴）・縄跳び等の体育器具

2. 活動中止について

○会員及び保護者

以下の内容に該当する場合は活動を自粛する。

- ① 朝の検温にて平常時より高い場合。また、その他の体調不良の場合も同様である。
- ② 保護者（送迎者）が体調不良の場合。
- ③ 保護者の勤務先がコロナ感染症等にて休業となった場合。
- ④ クラブ員の兄弟の学校機関が休校になった場合。
- ⑤ 以下のような症状がある場合には活動を自粛し、「接触者相談センター・保健所」に相談の上、病院にて受診する。

- 1) 風邪の症状や高い熱が続いている。（解熱剤を飲み続けなければならないときを含む）
- 2) 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。
- 3) 味覚・嗅覚に異常（継続的）があった場合。

※基礎疾患等のある者は、1) 2) 3)の状態が2日程度続く場合

※今年度は感染症等を含め流動的な状況を考慮し、**皆勤賞は廃止する**。

3. 運営について

運営については以下の通り進めていく。中止や変更等が生じた場合は、さくら連絡網・電話等にて通知する。

○活動中止

① 担当講師の体調不良（風邪・熱・腹痛）等異変が生じた場合は幼稚園出向を止め、各自病院等にて診察を受ける。事前にコロナ以外の病状が確定している場合、代行所員を行う。代行できない事由は活動を中止する。

② 各会場の園内関係者が感染した場合は、活動を中止とする。
※再開・復帰における期間・内容等は保健所及び病院の指示にて定めていく。

○練習日程等

今年度は、感染症の影響により確定した活動ができないことが想定されます。したがって各会場は社会情勢や地域の状況を考慮した上で各園（幼稚園・保育園・こども園）さんと協議しながら日程を決めて参ります。年間指導予定表及び体育通信日程の内容が決まり次第、各会場の会員に書面などにて通知いたします。